



ほうかつだより

地域包括支援センターの機能について

地域包括支援センターは、介護に関する悩み・相談ごと以外に、健康や福祉、医療や生活に関することなど、区分することなく、必要な機関・制度・サービスにつなぎ、高齢者だけでなく、その家族等の相談を包括的に高齢者の支援を行うところです。

悩み・相談ごとの種類	相談先
福祉	地域包括支援センター 社会福祉士 保健師 主任ケアマネジャー 等
保健	
医療	
介護保険	
介護保険外	

こんなとき
お役に立ちます

地域包括支援センター

こんな悩み・心配はありませんか？

いつまでも健康で元気な生活を続けるにはどうしたらいいの？

介護保険サービスを使うにはどうしたらいいの？

地域包括支援センターでは介護予防に取り組む方法に関する情報提供、出前講座、介護保険の申請、サービス利用等に関する相談・支援を行います。

最近ものの忘れがひどくなってきてお金の管理に自信がなくなってきた…

もしかして認知症？どこに相談したらいいの？

ご近所から怒鳴り声がいつも聞こえる…もしかして高齢者虐待…

地域包括支援センターでは認知症の方やその家族からの相談・支援、高齢者の人権や財産を守ること等に関して関係機関と共に支援を行います。

相談無料

健康・福祉・医療・介護など
高齢者の日常に関する相談や支援については
地域包括支援センターへご連絡ください！

来所・電話・訪問にて相談対応を行っています。
※裏面にお住まいの地域の相談先を記載しています。

次回、7月号では『地域包括支援センターの業務と認知症』についてお伝えします。



～高齢者虐待のない地域づくりのために～

高齢者虐待は、さまざまな要因によって引き起こされる問題です。
以下に、高齢者虐待が起きてしまう主な要因をいくつか説明します。

主な要因

- ・介護疲れ
- ・経済的な問題
- ・家族関係等のもつれ
- ・介護技術や知識の不足
- ・認知症による言動の混乱



介護者は、長期間の介護により身体的・精神的な負担を抱え、ストレスや疲労が蓄積され、虐待のリスクが高まることがあります。また、経済的や家族間のコミュニケーション問題、適切な介護方法が分からないことなども虐待の要因となり得ます。特に認知症のケアは難しく、介護者にストレスを与え、虐待のリスクを高めることがあります。



決して他人事にしないで！気づきのポイント！



住環境

- 部屋の中にゴミが散乱している
- 自宅通路が物でふさがれている



身なり・清潔

- いつも同じ洋服を着ている
- 洋服が汚れている
- 季節に合わない洋服を着ている



食事

- 体重が減っている
- いつもお腹が空いたと言っている



お金

- ガス・電気・水道が止まっている
- 「年金を取られる」「お金をだまし取られた」などの発言がある



健康状態

- 介護が必要と思われるが支援を受けている様子がない
- 身体に不自然な痣（アザ）や内出血がある
- 必要な病院に受診しておらず薬が切れている



家族・その他

- 家族が高齢者の介護でひどく疲れていたり悪口を言っている
- 家から怒鳴り声や泣き声、大きな物音がする



表情・ことば

- 高齢者が怯えたりおどおどしている
- 「暴力を受けている」「怒鳴られる」などの訴えがある



地域包括支援センター



上記のような『ちょっと心配』『気になるけど、どうしたら良いだろう』と思われる場合は、地域包括支援センターにご相談ください。

※相談者の個人情報を守ります。

